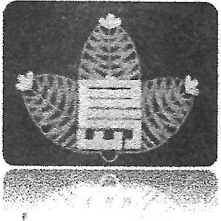


令和5年2月17日（金） 松本市立島立小学校 学校だより 第12号



しまだち

島立っ子応援団運営委員会開催

2月2日、島立小学校コミュニティスクール「島立っ子応援団」の運営委員会が開催され、島立地区子ども育成会長さんをはじめとする地域の運営委員の方15名と、ボランティアの皆さんにお集まりいただき、本年度の活動のふり返りと来年度に向けての話し合いがありました。

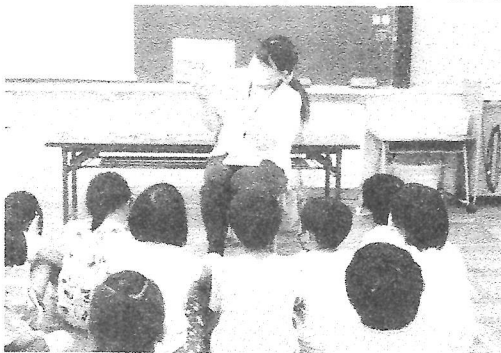
今年度は、学習支援、読書支援、安心安全支援、環境整備支援の4つの組織で運営されました。学習支援では、5月の放課後学習教室で9名の方に子どもたちの学習の支援をしていただいた他、2年生の地域探検、保育園の学校見学、クラブ活動（手芸、消しゴムはんこ）、5年生の米づくりなど、子どもたちの学習活動に幅広くご支援をいただきました。読書支援では、5月～7月、11月～2月まで、各教室での読み聞かせをしていただきました。安心安全支援では、登下校の見守りをしていただきました。環境整備支援では、学級園の耕作をしていただきました。



クラブ活動支援より

活動を通して、「子どもたちに顔を合わせ、覚えてもらえたことが嬉しかった。」「子どもたちの挨拶が戻ってきた。」「関わった子どもたちが、道で声をかけてくれ、交流ができています。」といったご意見をお聞きし、学校としても大変うれしく思いました。また、「地域がもっと子どもたちと接していくにはどうしたらよいか。」「学校側ももっと地域にアピールして欲しい。」といったご意見もいただきました。

「“地域”で子どもを育てる」大切さと同時に難しさを感じる機会となりました。来年度の活動に反映させていきたいと思えます。今後とも、保護者・地域の皆様には、ご支援・ご協力をお願いいたします。



読み聞かせ支援より

児童総会がありました

3学期に入り、児童会活動も今年度まとめの時期になりました。1月末には、来年度の児童会長選挙があり、新児童会長・副課長が決まり、いよいよ6年生から5年生へバトンタッチされます。10日には、児童総会があり、今年度のまとめと、5年生の新役員さんの紹介がありました。今年はコロナ禍ということもあり、児童会運営が、リモートでの集いや短時間での活動、またクラス単位の活動が余儀なくされてきた一年でしたが、今回の総会は、久しぶりに3年生以上の児童が一堂に集いました。実際に顔を合わせ、雰囲気を感じ、自分たちの島立小学校のために意見を交わすことができました。6年生にとっては最後に、5年生にとってはスタートに当たり、大変有意義な会になったと思えます。3、4年生にとっても、上級生の姿に気が引き締め、憧れを抱く機会になったと思えます。



「6年生から5年生へ引継がれました」

3月行事の予定

- 8日 6年生を送る会
- 15日 3学期終業式・離任式
- 16日 卒業式
- 17日 年度末休業
- 22日 P T A送別会・会計監査
- 28日 新6年登校日
- 30日 新3・5年学級揭示
新3・5年学級役員選出



4年生 自然学習「火起こし体験」

◇卒業式の在校生参加について

今年度の卒業式は、在校生は4, 5年生のみの参加とさせていただきます。従って、1年生から3年生までは、15日が最終登校日となります。なお、4, 5年生の参加につきましても、今後の状況によっては変更になる場合もあります。その際は、追って連絡いたします。

ご理解のほどよろしくお願い致します。

令和5年度の島立っ子応援団を募集します。
学校支援ボランティアにご協力ください。

学習支援、読み聞かせ、登下校の見守り、環境整備などで、子どもたちの健やかな育ちをお手伝いしていただけるとありがたいです。

詳しくは、別配布のチラシをご覧ください。

令和5年度 4月の予定

現在の予定ですので、変更になることもあります。ご了承ください。

- 6日 (木) 始業式・入学式
- 10日 (月) 図書館開館
P T A評議員会
引継ぎ会
- 11日 (月) 特支学級懇談会
集金日①
- 12日 (火) 1年給食開始
集金日②
- 18日 (火) 全国学力・学習状況調査
- 20日 (木) 参観日・学級P T A
PTA総会
- 21日 (金) 内科検診
- 24日 (月) 地区児童会
- 26日 (水) 交通安全教室

終わりに

先日、4年生が道徳の授業で「花さき山」のお話を読み、「美しい心」について考えていました。その中で、自分のことより、妹やお母さんのことを考えて我慢する主人公の心情に共感する姿が見られました。

『一つ我慢すると、一つきれいな花が咲く。』今年、子どもたちは、どんな場面でどんな花を咲かせられたでしょうか。今年度もあと20日足らずとなりました。一人一人が咲かせた花を見つけ、愛でてあげたいなあと思います。

文責 (教頭: 安藤隆子)